

令和2年度 第99回全国高校サッカー選手権大会 苫小牧地区予選大会

開催要項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース（18歳以下）年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 令和2年度 第99回全国高校サッカー選手権大会 苫小牧地区予選大会
- 3 主 催 苫小牧地区サッカー協会、高体連室蘭支部
- 4 主 管 苫小牧地区サッカー協会2種委員会
- 5 期 日 令和2年8月22日（土）、23日（日）、29日（土）、30日（日）
- 6 会 場 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場人工芝
- 7 参加資格 (1) 2020年度（公財）日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。  
(2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。  
(3) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。  
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入、または加入の意志のある者。  
(5) 平成13年（2001年）4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(6) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。  
(7) ①転校後6カ月未満の者（全道大会初日起算）は参加できない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。（外国人留学生もこれに準じる）  
②転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記①に準じるものとする。ただし、この規定②の適用は当該年度内に限るものとする。  
(8) 選手は、在籍する学校長の承認を必要とする。  
(9) 各チームの登録選手は、（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とすること。（選手証とは、KICKOFFから出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。）  
(10) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。  
(11) 参加資格の特例  
①上記（2）、（3）に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。  
②上記（5）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。  
③統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
④部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

#### 【大会参加資格の別途定める規定】

1 学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高等専門学校、第124条の専修学校、第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

##### (1) 大会参加資格を認める条件

- ①全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- ②参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混合は認めない。
- ③各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失わず、運営が適切であること。

##### (2) 大会参加に際し守るべき条件

- ①全国高校サッカー選手権大会苫小牧地区予選大会開催要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- ②大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

#### 8 競技規則

- (1) 本年度（公財）日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
- (2) 大会参加申込みをした最大25名のうち、各試合毎の登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の内から、5名までの交代が認められる。
- (3) 交代要員9名とスタッフ5名（どちらも最大数）がベンチ入りできる。

#### 9 競技方法

- (1) トーナメント方式により苫小牧地区代表を決定する。
- (2) 試合時間は80分（ハーフタイムのインターバルは15分）とし、勝敗が決しない場合は、ペナルティマークからのキックにより勝敗を決定する。
- (3) 代表決定戦において、80分で勝敗が決しない場合は20分（10分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティマークからのキックにより勝敗を決定する。

#### 10 引率責任者 および監督

引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

#### 11 参加料

大会参加料 12,000円（消費税込）

#### 12 参加申込

- (1) 参加申込書に登録できる人員は、引率教員1名、監督1名、感染対策担当者1名、選手25名、主務2名とする。
- (2) 令和2年7月15日（水）17時までにファックスあるいはメールで「大会参加確認書（兼申込書）」を送付し、原本を大会参加料とともに監督会議で提出すること。なお、監督会議に欠席する場合は、上記期日までに参加料（審判不帯同の場合は不帯同審判料も）および原本を送付すること。
- (3) (2)に加え、令和2年8月14日（金）17時までにメールで「参加申込書」を送付し、原本を大会当日に大会本部に提出すること。
- (4) 参加申込書の位置（ポジション）については、GK・DF・MF・FWの用語を使って記入すること。

(5) 大会参加料、不帯同審判料、大会参加確認書及び参加申込書等の送付、問合せ先

〒057-0006

北海道浦河郡浦河町東町かしわ1丁目5-1

北海道浦河高等学校 舟田 彩一郎 宛

TEL : 0146-22-3041

FAX : 0146-22-2814

e-mail : s-funada@hokkaido-c.ed.jp

- 13 組み合わせ 監督会議で抽選を行う。ただし、別途申し合わせに従いシードチームを決定する。それ以外はフリー抽選とし、申込受付順に予備抽選を行い、その順番に従い本抽選を実施する。
- 14 帯同審判 (1) 出場チームは、(公財)日本サッカー協会認定審判員を帯同させること。  
(2) 帯同審判員は、大会期間中その業務にあたるものとする。  
(3) 帯同できない時は、5,000円(消費税込)を大会参加料納入時に不帯同審判料として納入すること。
- 15 選手変更 参加申込書送付後の選手変更は認めない。
- 16 ユニフォーム (1) 2020年度(財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」および全国高等学校体育連盟規定に従うものとする。  
(2) 背番号は、1番～25番までの番号とする。  
(3) 正副2着を必ず携帯すること。(シャツ、ショーツ、ストッキングそれぞれ正と副とが明瞭に区別できることとする)  
(4) シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。服地と明確に判別できる色彩であること。また、縞のユニフォームには、30cm四方の台地に背番号を、約10cm四方の台地に胸番号をつけること。  
(5) ユニフォームの色彩は、通常審判員が着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。  
(6) 参加申し込み以降の変更は認められない。なお、背番号の変更も認めない。
- 17 懲 罰 (1) 本大会において、退場させられた者は、次の1試合に出場できない。  
それ以降の処置については、本大会の大会規律・フェアプレー委員会で決定する。  
(2) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- 18 監督会議 (1) 日時 令和2年7月20日(月)13時～  
(2) 場所 北海道苫小牧東高等学校 会議室
- 19 その他 (1) 本大会は大会期間を通じて感染対策責任者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策責任者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。  
(2) 試合開始60分前に、会場本部にてオーダー用紙の提出、ユニフォームチェック及び選手証の確認を行う。ただし、試合が連続する場合は前の試合のハーフタイムに行う。チームは試合ごとに選手証(写真添付)を必ず持参すること。なお、申請中につき選手証がまだ送付されていない場合は、協会登録票の写しを持参すること。  
(3) 試合球は各チーム持ち寄りとする。ボールはモルテン社製「ペレーダF5P5000」(芝グラウンド用)とする。

- (4) 選手資格に関してその他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。
- (5) 荒天・震災・雷、その他不測の事態で競技に影響がある場合は、大会本部において協議の上対処する。中断・中止・延期のあることを留意のこと。
- (6) 苫小牧地区代表になった場合は、全道大会出場を義務づける。ただし、新型コロナウイルス感染の心配のため大会出場を辞退したいとの申し出があった場合には、この限りではない。